

人新世を耕す

帯広畜産大学 筒木潔名誉教授

④

多様な効果ある緑肥

炭素含有向上や排水性を改善



緑肥エンバクのすき込み (小麦跡地に栽培)

どうしたら土壤中の有機炭素含有率を高めることができるのか。植林、農耕地への堆肥の投入、緑肥の栽培などさまざまな方法がある。それぞれの方法に長所があり、それが特に優れているということはできない。

緑肥の利用については、その普及度が低いように思われる。しかし、緑肥栽培と堆肥の投入を比べ

てみると、下記の表に示したように緑肥は堆肥と比べて勝るとも劣らない効果を持っていると考えられる。

下記の項目について少し補足すると、緑肥は農家の圃場内で生産するが、堆肥は圃場外から持ち込むものである(8-4)。作物を栽培し、その収穫物を圃場外に持ち出すと、土壌から吸収された養分は失われるの